

## 文部科学大臣表彰

文部科学省では、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について、特色ある優れた実践を行っている学校・図書館・団体（個人）に対し、その実践をたたえ、文部科学大臣表彰を行っています。

本県から、次の学校・図書館・団体（個人）が選ばれました。

### 活動紹介

#### （1）東根市立大森小学校

開校当時から、子供が読書に親しみ、豊かな感性を磨くための読書活動に力を入れている。年間を通した朝読書の実施や、手づくり絵本の作成、児童会活動での推薦図書紹介など、子供たちによる積極的な読書活動を展開している。また、図書館には子供の様々な興味関心に対応できる豊富な蔵書があり、日頃から進んで本に親しむ環境が整っている。読み聞かせの地域ボランティア「ぶーけ」の方々も大変協力的で、本の魅力を最大限に伝えるために、大型スクリーンと効果音を用いた読み聞かせや課題図書紹介用のポップの作成、テーマ毎の本紹介コーナー設置など、特色ある多彩な取組に挑戦している。2020年東京オリンピック・ホストタウンとしてドイツとの交流を促進する中、学校ではドイツに関連する図書や資料を展示する等、工夫をこらした展示・環境づくりにも力を注いでいる。

#### （2）三川町立押切小学校

読書活動に関するPTA活動や児童会活動が盛んである。昭和57年から37年間の長きに渡り「PTA親子読書部」による読書推進活動が盛んに行われてきた。また、児童会においても図書委員会を中心に「読書まつり」等を企画し活発に活動を行っている。

学校司書補を中心としたサポート体制が機能し、児童の調べ学習及び関連読書等について児童・教員の相談等に応じることで学校図書館の積極的な活用につながっている。

三川町公民館図書室との連携を図り、公民館図書室所有の蔵書の2,300冊にも上る貸出も行っており、児童の読書量の増加につながっている。

#### （3）山形県立遊佐高等学校

図書委員会を中心に学校全体を巻き込んだ活発な読書活動が実施されている。学校司書が生徒一人ひとりに作成した「〇〇さんへすすめる本」の配付、図書委員会による教員の推薦図書を基に作成した冊子「先生方からの遊佐高生にすすめる本」の配布など、小規模校の利点を活かした活動を展開している。図書館が情報収集の場として多くの教科に活用されており、国語科の「ビブリオバトル」を通じた読書活動の推進においては、コミュニケーション能力及び表現力の育成にも貢献している。

#### （4）東根市図書館（東根市）

各年代の子供を対象にした「おはなし会」、さらに「スペシャルおはなし会」として、季節の遊びを交えたおはなし会等の実施や「ティーンズサポーター」による「ティーンズコーナー」の設置等、親子や各世代の子供に応じた読書活動環境の充実を図っている。地域における読書環境の改善策として、読み聞かせボランティアに対する団体貸出や講習会の提供、保育園等への出張読み聞かせを行った。また、「図書館探検ツアー」「ブックスタート事業」「ぬいぐるみお泊り会」「ビブリオバトルキッズバトル」等、子供たちの読書活動への興味・関心を高める多彩な取組も行っている。「ドイツ語によるおはなし会」や「読書カフェ」等、東根市の特色を活かした取組も始めている。

#### （5）あ～すまいり～ず（飯豊町）

平成14年の設立以来、町内の幼児施設や子育て支援センター、小学校、中学校に出向いて、定期的に読み聞かせを行っている。その都度の子供たちの発達段階や季節に合わせた内容を検討し、手遊びやペープサート、ブックトーク等、自らスキル向上を図りながら子供たちに活動を提供している。

飯豊中学校では読み聞かせのしかたや選本について助言し、それが町の読み聞かせイベントや幼児施設訪問での活動に活かされる等、世代を超えた伝承にも発展している。「飯豊町子ども読書活動推進計画」を策定する協議の場にも、地域の読書推進ボランティアとして関わり、町と一体となってその推進に貢献している。